**地域密着型サービス運営推進会議記録（第　1　回）**

|  |  |
| --- | --- |
| 施設名 | グループホーム花乃苑 |
| 施設種類 | 認知症対応型共同生活介護 |
| 開催日時 | 令和２年　４月　３０日　　１４時００分　～　１５時００分 |
| 会場 | グループホーム花乃苑 |
| 参加者 | 利用者代表 | 1人 |
| 利用者家族代表 | ０人 |
| 民生員 | ０人 |
| 高齢者お世話センター | ０人 |
| 市職員 | ０人 |
| 他事業所 | ０人 |
| 有識者 | ０人 |
| 事業者 | ４人 |

|  |  |
| --- | --- |
| 報告事項 | 1. 現状報告

**今回は新型コロナウィルス感染症による感染予防のため、自施設のみでの開催。**　入居者数　男性６名　女性１２名　要介護別　要介護１（３名）要介護２（６名）　要介護３（６名）　　　　　　要介護４（３名）要介護５（0名）　入・退居者　3/27　入居　男性８８歳　介護２　在宅より　　　　　　4/7　 退居　女性８０歳　介護５　特養へ転居　　　　　　4/14　入居　女性８７歳　介護２　在宅より　　活動内容　　　　　お誕生会、お茶会、桜花見（苑庭にて）　　苑庭や近所を散歩　　　 |
|  |
| 議題① | **「新型コロナウィルス感染症について」**《対策内容》〇入居者様への感染予防、安心・安全な生活の維持に努める。健康状態の観察。〇2/26～ご家族や関係者等の面会制限を継続中。緊急の場合を除き、面会をお断りさせていただく。電話でのコミュニケーション援助。〇緊急以外の外来受診は控え、薬の処方のみが可能かどうかの確認と処方せんの受け取りについては、ご家族へもご協力をお願いする。〇業者の納品については玄関で受け取り、建物内への入室はお断りする。〇職員一人一人が高齢者施設で働いているということに自覚を持ち、ウイルスを職場に持ち込まないよう、プライベートにおいても責任ある行動や予防対策をしっかりと行ってもらえるよう周知する。〇不織布マスク、アルコール消毒の在庫は残り僅かで今のところ入荷の見込みはなく、手袋、ハンドソープ等の衛生品についても品薄となってきているため、乱用せず大切に使用する。不織布マスクは非常事態に備えて備蓄用に保管し、感染のない現時点では布製のマスクも配布し使用してもらう。〇職員・入居者様ともに手洗い、うがい、手指消毒をしっかりと行い、空間消毒には次亜塩素酸ナトリウム噴霧器を使用。噴霧器は玄関、各ユニット共有スペースに設置。職員出勤時や外出から戻った際、業者の出入り時にはハンドスプレー容器にて身体への噴霧も行う。　　　 |
| 議　題② | **「身体拘束等適正化対策検討委員会」**〇新規採用職員への研修として『身体拘束等の適正化のための指針』を説明　し、身体拘束防止に向けての施設の取り組み等について理解を深める。〇当苑では離床センサーマットを５台保有し、転倒リスクの高い利用者様に　　はご家族に説明・了承の上、使用させていただいている。安全確保のための介護用品であるが、プライバシーの侵害や行動を制限するツールにもなり得るため、介護職員の認識や対応方法が重要となる。例えば・・・センサーが鳴り居室を確認したところ、利用者様がベッドから起き上がろうとされていた。その際に利用者様の希望（トイレ等）を確認し、援助させていただく。転倒や転落等の事故を予防できることが目的であり、決して「危ないから寝ていて」「動かないで」等、行動を抑制(身体拘束)するものではないということをしっかりと理解した上で活用しなくてはならない。 |
| その他 | 毎年５月に行っていた羽ノ浦幼稚園や近隣の介護施設との交流『さつま芋苗植え』が、残念ながら今年はコロナの影響で中止となった。２月以降の感染対策により買い物や地域イベントへの参加も自粛している状態で地域との交流がなくなっている。天気の良い日は出来るだけ苑庭や苑周辺を利用者様と一緒に散歩に出掛け気分転換を図ったり、利用者様の希望する食事メニューを提供したり、施設内のレクを充実させる等、職員も一緒に楽しみ健康的な生活が継続できるような援助に努めている。また、家族との面会が出来ず精神不安定になる利用者様については、感染対策をとった上で面会の機会を設けたり、電話でのコミュニケーションも援助している。 |